



第17号  
 発行人：坂本孝志  
 編集人：西野嘉一  
 発行所：京都市上京区  
 下立売通新町西入  
 京都府庁日本館2階  
 電話：075-451-8146

### ◆ 「模擬試験委員会」の名称が変わります



都草の発足時から、地味🙄に活動してきました「都草・模擬試験委員会」は、その名称を「都草・京都検定対策委員会」と変更し、新たに3名のメンバーを加えて、総勢17名の陣容で引き続き活動を始めました😊。

名称を変更する理由は、模擬試験委員会の活動が、模擬試験以外に広がってきたためです。24年度は、京都新聞文化センター主催の京都検定試験対策講習会・1級合格特別コース、京都の大手タクシー会社の京都検定3級・2級および1級向け研修会、シルバー人材センター主催の講習会などの講師の要請を受け、慌ただしい1年を過ごしました。このような依頼が増えたのは、都草の知名度がアップしたことや委員会の活動の実績が評価されたためだと思います。その期待に応えるために思いを新たに、活動を充実させたいと考えての名称変更です。

24年度の活動成果を振り返ってみますと、模擬試験で取り上げた問題や講習会で注目した事柄が、京都検定1級試験で数多く出題され（崇道神社、高雄曼荼羅、下村家、三条実美、浄瑠璃寺、古典の日、弥栄会館、松室重光、嵐電の駅名、小論文の北野天満宮をはじめ多数）、受講者の皆様に喜んで頂けたことです。「都草の模擬試験や講習会に参加してよかった」、「そのおかげで合格できた」、「来年も受講したい」などと言って頂きました。少しでもお役に立てたとすれば嬉しい限りです。これを励みに、今年もメンバーの経験と知識と心を結集して活動に取り組みますので、ご期待下さい！

(副理事長 高橋克仁)

### ◆ 第9回京都検定1級に合格して！



私は都草に入会してすぐに事務局を担当し、多くの会員の皆様とお話をする機会をいただきました。皆様が各々専門分野に興味を持ち熱心に勉強されている姿を見て、大変刺激を受けました。そして改めて「知らなかったことがこんなにあったのだ！」と思い知らされました。テキストを参考に歴史や文化を尋ね、復習を兼ねて毎日ブログの更新をしてきました。特に関心をもった項目は「京都の主な祭と行事」です。参加したり見に行くことで町の人々が伝え続ける伝統や、次世代の人々がそれを受け継ぐことの大切さを学びました。経験しながら理解すること、そして都草・模擬試験を受けた事が今回の合格につながりました♪ アドバイスを頂いた会員の皆様にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。(会員 岸本幸子)

### ◆ 1級4度目の合格です！



毎年、京都検定を受けております。昨年も合格し、一級合格通算4回になりました。京都検定のおかげで、勉強の楽しさや京都の素晴らしさに気付かされたと言っても過言ではありません。私にとって京都検定と都草は、京都を学ぶための基軸です。年間100以上の寺社や行事を見て回り、自分の足と目で京都を楽しみながら学んでおります。毎年受験しておりますと、自ずと合格のコツがわかってきます。一つのお寺で5つのキーワードが連想出来るか。人名から関連する人名の連想。難読漢字の練習。未出題の固有名詞。テキストの隅の方は要注意など。山を張るのも勉強の一つでしょうか。継続は力。これからも楽しみながら10回合格を目指して頑張りたいと思います。

(会員 西 謙造)

## ◆◇ 都草文化交流会 ◇◇

**第 4 回 “天体観望と京都の天文学の歴史を訪ねて”**

11 月 21 日に会員 18 名が東山の花山天文台に集合致しました。この時期にしては少し冷え込みが厳しい天候でしたが、天文台の素晴らしい紅葉が我々を迎えてくれました。始めに京大名誉教授の小山勝二先生から京都の天文学史のレクチャーを受けました。邪馬台国から見えたであろう南十字星の話、安倍晴明の陰陽道の話、映画「天地明察」の渋川春海と京の安倍家との暦合戦等、興味尽きないお話を聴くことができました。そして参加者からは数多くの質疑も有りました。次に宇宙遊泳さながらの四次元シアターを見学し、最後に日本で 3 番目に大きい口径 45 cm の屈折望遠鏡で月のクレーターをまのあたりにし感動！ 皆さん大満足のうちに散会となりました。又、機会があれば実施したいと思っています。(理事 芦田喜雄)

**第 5 回 茶歌舞伎を体験して**

「茶歌舞伎」の名は聞いたことがありましたが、どのようなことをするのか知りませんでしたので、案内を見てすぐに申し込みました。福寿園の日本茶インストラクターの方から「今日は歴史文化に詳しい皆様なのでお話ししやすいです」となごやかに始まりました。今回は、玉露、煎茶、玄米茶を同じ条件（湯の温度、抽出時間など）で入れ、それを一服ずついただき、どのお茶かを当てるゲームでした。同じ条件にするとなじみのあるお茶の味もわかり辛くなり、なかなか難しいものでした。改めてお茶の入れ方で味が違うことがわかったり、おいしさも認識できてとても楽しい「茶歌舞伎」でした。ちなみに幸い全問正解の“皆点（かいてん）”でした。昼食には茶葉を取り入れた料理でお茶の多様性も楽しめました。また各フロアを案内いただき、人間国宝の作品の紹介やからくり人形の“茶運び人形”を動かしていただき、とても興味深く拝見し、楽しいひと時でした。

(会員 宮澤佳代)

**“茶歌舞伎の集い”**

去る 2 月 8 日、福寿園本店に於いて「茶歌舞伎」を体験しました。普段飲んでいるお茶の種類を飲み当てるゲームです。具体的には玉露、煎茶及び玄米茶をそれぞれ「花」「鳥」「風」と風流に呼び、参加者は種類を知らされずに少量のお茶を順次飲みます。飲んだお茶の種類を事前に配布された札にて投札箱に入れます。それを 2 回行い、総合正解率を競います。事前の試し飲みがないこと、沸騰させたお湯を用いて同条件で淹れること、投札は一杯飲む毎に行われことなど、難度を上げる仕掛けもあり、全問正解者は参加者の 3 割程度でした。

その後、3 階のレストランでフレンチ料理を賞味、本店各階の見学もさせて頂き当日の集いが終了しました。外は寒風吹きすさぶ極寒の京都でしたが、室内は熱いゲームと美味しい昼食で盛り上がった楽しい数時間でした。

(会員 島田豊司)

## ◆◇ 都草古文書講座 『初午まうで』を受講して ◇◇

「歴史を志す」と言えば大袈裟ですが、歴史に興味を持つ人間にとって古文書は避けて通れない道であり、読めるようになれば更に興味が増すと思います。教材の『初午まうで』は舞台が京都であり身近でなじみのある所なので興味が一層増しました。また時代背景や地理、古文書解読に関する基礎知識迄に及んだ伊東宗裕先生の詳細な説明がわかりやすかったです。先生の溢れる熱意のお蔭で講義が 1 回増え、ちょっぴり得をした気分です。我々に多くの事柄を伝えたい教えたいたいという伊東先生の講座を通して、京都の歴史を多方面から学ぶことができました。ひき続き古文書講座を期待しております。



(会員 武富幸治)